

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 令和3年8月6日
都市名・国 愛知県大府市

取組の名称	おおぶ・ピース・プロジェクト
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ()
テーマ・目的	戦争の悲惨さ、平和と命の大切さについて考える
対象者 (年齢・学年、人数等)	市民400人 (例:12歳の子ども60名、保護者や市民30人など)
実施場所	愛三文化会館(大府市勤労文化会館)
実施期間	令和3年7月25日(日)(1日間) ※定期的に行う取組は、その旨を記入し、いつから、どれくらいの頻度で実施しているかを報告してください。
<p>取組の概要(授業、イベントはプログラムの次第を、その他(例:コンテスト等)はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <p>大府市制50周年Plus1記念事業として、「おおぶ・ピース・プロジェクト」と冠して、以下の平和に関する事業を上記実施場所において同時開催した。</p> <p>①平和講演会 戦場カメラマンの渡部陽一氏を招き、平和と命の大切さについて講演会を開催した。</p> <p>②私の八月十五日パネル展 ペン型のIT機器「音筆(おんぴつ)」を使用して、高倉健さんをはじめとする著名人が綴った終戦の日の思いを本人の声で聴くことができる取組を実施した。</p> <p>③平和の樹 来場者に葉っぱの形をした付箋に平和へのメッセージを記入してもらい、模造紙に貼り付けていくことで大きなメッセージツリーを作成する取組を実施した。</p>	
<p>参加者の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渡部さんの話を聞いて、平和について考える機会になった。 ・世界には教育を受けられない子どもたちもいると知って、自分たちは恵まれた環境にいると分かった。 ・戦争体験者の生の声を聞くことで、平和のありがたさを実感した。 	
<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の紛争地域で起きていることを知ることで平和のありがたさを実感し、平和のバトンを後世に引き継いでいくことの重要性について多くの市民に啓発できた。 	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和に関心をもち、自ら学び、行動する市民の増加 ・若い世代に平和を「我が事」と考えてもらうための仕掛け 	
<p>取組で使用した素材について(図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。)</p> <p>①渡部氏が撮影した写真、②パネル、音筆(ともに株式会社今人舎から借用)、③模造紙、付箋</p>	
<p>上記素材の共有の可否(取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能(素材を添付してください) <input checked="" type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。



当日看板



平和講演会で講演する渡部陽一氏



私の八月十五日パネル展で戦争体験者の終戦の日の思いを聴く来場者



来場者のメッセージで大きく育った平和の樹